



郡中二つ目の合い言葉「郡中ビレッジ 美・礼・時」の「時」は、 これからの「時」代を生き抜くための学力対策と学力定着です!



現在の社会状況

- 情報化・AIの台頭 ○グローバル化
- 少子化・高齢化の進展
- 労働人口の減少
- 社会保障制度の存続困難
- SDGs=2030年までに解決すべき17の目標と169のターゲット ○ポピュリズムの台頭
- ロシアによるウクライナ侵攻
- コロナウイルス感染症等の新たなる危機



様々な課題が山積する先行き不透明な未来においても、多様な人々と協働する中で自分なりの答えを創造し、持続可能な社会を作り上げることのできる力を生徒一人一人に育むことが大切なのです。

そのような目的達成のために登場したのが、全国の全ての中学校で令和3年度から実施されている「新学習指導要領」なのです!

今回の新学習指導要領では**2030年を見通して将来の社会を作っている生徒たちを育てるという教育の新しい大きな枠組が示されています。**

そこで郡中学校では、右に示す「3つの資質・能力」を生徒一人一人に育むため、全ての生徒に対して「**主体的・対話的で深い学び**」を実現できる授業改善研究に全職員が一丸となって取り組んでいます。

そして、今回の「新学習指導要領」では、これからの生徒たちが身に付けなければならない「3つの資質・能力」を下記のように示しています。

研究主題 「自ら学びに向かう生徒の育成」 ～探究的な学びに導く授業と学習課題のあり方～

各種学力検査の結果から、本校生徒の実態を①学力の二極化が起こっている。②家庭学習の取組が不十分。③既習事項の定着や活用が不十分。と判断し、その改善に向けて、毎時間の授業の中で導入における「めあて」、展開における「深める」、終末における「まとめ」の場面を設定し、そのねらいのもとに日々の授業実践に取り組んでいます。



めあて

深める

まとめ

本時で何を学ぶのか(めあて=学習課題)を生徒にしっかりと捉えさせる。

自分の考えを持つ場面や他者と対話する場面を設け、自分なりの解決方法を深める中で、本時の学習課題に取り組ませる。

授業を通して生徒に「何がわかったのか」「どんな変化があったのか」「もっと考えたいこと」について自覚させる場面です。

資質・能力の三つの柱

学究人生や社会に生かされる
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

保護者の皆様へ 新しい学年のスタートの中で、家庭学習の習慣化へのご協力をお願いします!



中学校の学習では、予習と復習が大切であり、その為の学習時間を確保する「家庭学習の習慣化」がとても重要になってきます。また、この「家庭学習の習慣化」がお子様方の進路実現に大きな力を与えてくれると共に、その確立のためには、学年・学級が新しくスタートするこの春の時期が有効だと言われています。ご家庭でも、お子様方の将来の夢や希望について話題にさせていただき、その実現のための「家庭学習の習慣化」に向けて、しっかりサポートいただければ幸いです。よろしくお祈りします。以下に「家庭学習の習慣化」に向けてのPOINTを記載しました。ご一読下さい。

「家庭学習の習慣化」に向けてのPOINT

- 予習は「授業を理解しやすくする」のに役立ち、復習は、「授業で理解したことを自分の学力(考察力や知識)にする」のに役立ちます。そして、どちらにも言えることは「継続は力なり!」です。毎日の家庭学習を継続させる中で、確かな学びの力を身につけていきましょう。
- 家庭学習の効果的な取り組み方
- ①宿題から復習の時間へと、学習の幅を広げましょう。
- ②机に向かったら、すぐに勉強を始めましょう。
- ③今、長時間費やしていることを勉強時間にあててみましょう。

負けられない戦いがそこにある! 計画的な学習の中で、テスト対策しっかり 取り組んでいきましょう。

4月19日(火) 3年生全国学力学習状況調査
(国語、数学、理科)

2年生長崎県学力調査
(国語、数学)

1年生課題テスト

4月20日(水) 3年生長崎県学力検査
(英語)



